

はじめに

JAグループは、平成24年10月の第26回JA全国大会において、「協同組合の力で農業と地域を豊かにする『次代へつなぐ協同』」を主題に、JAのめざす姿を「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」と定め、「持続可能な農業」と「豊かでくらしやすい地域社会」の実現に向け、「地域農業戦略」、「地域くらし戦略」、「経営基盤戦略」を策定・実践することを決議し、各JAが取り組みをすすめてきました。

また、平成26年11月には、政府からの「農協改革」の提起に対し、JAグループは、第26回JA全国大会決議をふまえつつ、将来めざすべき協同組合としてのJAのあり方、営農・経済事業の強化に向けた自己改革事項について検討をすすめ、全中理事会において、「JAグループの自己改革について」を決定しました。

第27回JA全国大会では、農業・地域社会・JAを取りまく情勢と課題や「農協改革」をふまえ、平成26年11月に決定した自己改革の3つの基本目標（「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」）の実現に向けた施策の具体化・見直しを行い、「創造的自己改革」に取り組むことを提起します。とりわけ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」については最重点課題として、集中的に取り組むこととします。

「創造的自己改革」とは、組合員の願いを実現するため、各々のJAが多様な農業・地域の実態に応じて、自らの創意工夫に基づく積極的かつ多彩な事業と組織活動を展開し、地域の農業とくらしになくてはならない組織となることをめざす改革です。

JAグループは、「創造的自己改革」に取り組むことで、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に全力を尽くし、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」としての役割を發揮して、持続可能な農業と豊かでくらしやすい地域社会の実現をめざします。

平成27年10月 全国農業協同組合中央会

目次

はじめに	1
第27回JA全国大会のポイント	2
わたしたち(農業・地域・JA)の情勢・課題	2
「農協改革」(改正農協法)の概要	3
第27回JA全国大会でJAグループがめざすもの	4
自己改革の考え方	5
「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への挑戦	6
「地域の活性化」への貢献	8
組合員の「アクティブ・メンバーシップ」の確立	9
「食」「農」「協同組合」にかかる国民理解の醸成	10
農協運動の結集軸として新たな中央会を構築	10